

受託開発/生産 (EMS) サービス

営電株式会社は、放送・通信分野で長年培ってきた技術力をベースに、電子機器、通信機器、放送関連機器、映像関連機器などの受託開発/生産サービスを行っております。設計から部品調達、実装、各種ケーブル加工、製品組み立てまで一貫して対応致します。品質やコストはもちろんのこと、少量・多品種・短納期にも対応致します。

技術

『高周波(RF)技術』、『デジタル/アナログ変復調技術』、『デジタル信号処理技術』、『映像関連技術』、『ソフトウェア開発(組み込みソフト/アプリケーションソフト開発)』、『不要輻射ノイズ測定、EMC試験』等を中心にした高い技術力を提供致します。

生産

基板実装・実装検査から製品組込み(少量から量産)、梱包出荷まで一貫対応を行っております。



視覚認識補正装置付
精密自動印刷機



実装基板検査装置



生産ライン

品質

・スポットリフロー(BGA対応)、リワーク機器を有し、熟練の作業員が品質を支えております。
・社内のマイクロソルダリング・インストラクターにより、半田付け作業従事者に対して、定期的にオペレーター試験を実施しております。



スポットリフロー(BGA対応)



有鉛、無鉛リワーク装置

沿革

昭和39年(1964年)創業の当社は、業界で初めてTV信号発生器のオールトランジスタ化に成功、小型高性能化を実現し、テレビ生産工場に相次ぎ採用されて、大きな発展を遂げました。



営電本社ビル
(神奈川県川崎市麻生区2-7-1)

昭和40年代初頭、いち早くTV音声多重信号発生器、FM多重放送用信号発生器を開発し、「音声多重の営電」として業界に認知頂きました。放送のデジタル化においては、日本では衛星放送が最初にデジタル化されましたが、これに対応した試験用テスト信号発生器(QPSK変調器)を国内で最初に製品化したのも当社でございます。その後も、BSデジタル放送、米国デジタル放送、欧州デジタル放送に対応した信号発生器を次々とリリース致しました。

日本の地上波デジタル放送でも、世界最速で試験用信号発生器を製品化し、その技術力が評価され放送局用送信機としても採用されております。

現在では、全世界のデジタル・アナログ放送に対応した製品をラインナップし、世界30ヶ国以上へ納入しております。